

旬の味が呼ぶ 四季の記憶

ふみびと

めぐりめぐるもの

第354号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

旬のものを食べることに
若い頃は何となくその時
食べたものを食べてい
たけれど、いつの頃から
かスーパーなどに買い物
に行くとなんか意識する
ようになっていた
気がします。

もちろん旬のものであ
れば価格も安いし味も良
いので、買う理由として
は十分なのですが、それ
以上にどこかで「四季」
を感じたくて手に取って
いるのかもしれない。

旬のものを意識して食
べると大人になってから
「四季を感じたくて」と
は言うものの、意外と子
どもの頃の方がもっと四
季を楽しんでいたように
思います。

夏には服が濡れるのも
厭わずホースで水をかけ
あったり、冬にはかじか
んだ手を温めることも忘
れて雪合戦をしたり。
大人になってからは季
節の移り変わりを楽しむ
反面、暑さや寒さに疎ま
しさを感じたり、天候を

憂うばかりになってしまっ
ていたような気がします。
そんな中でもふとした時
に薫る、懐かしさを感じ
られるような「四季」の
息吹。

「四季」を感じるとい
うことは、どこかで子ど
もの頃感じた「四季」
にもう一度触れるような
ものなのかもしれません。
旬のものを食べる。
昔、両親や祖父母にそう
させてもらった体験をま



**風に揺られて誰かに届け
風船便**

風船便はいつでも誰でも参
加できますが、その受取は新
規の方へ優先されます。送
り方は簡単♪下の風船便切手
を切り取って手紙に貼り宛名
に「風船便を受け取った方へ」
と書いて、差出人名を書くだ
けです。事務局同封下流で
宛封筒にのりをつけて
局用封筒に貼ります。

次回発送日
次回の発送日は、10月
7、21日の予定です。送
りたいお手紙がある場合に
はそれぞれ3日前（4日、
18日）までに事務局に到着
するようお送りください。

心の耕作

夏の暑さが日に日に和らいでい
く。朝や夕方には涼しさも漂い、
ようやく過ごしやすい季節がめぐっ
てくるのを感じる。夏の間、手
を抜いてしまっていた花壇に申
し訳ない気持ちを抱えながら手
を入れていく。伸びた雑草を取り
除き、土を耕し、新しい植物のた
めに種をまく。柔らかな土と生命

の詰まった種に触れ、自然との対
話を楽しむ。やがて訪れる春には、
この花壇が色とりどりの花で満ち
溢れることを想像して、静かな期
待を胸に作業を続ける。日差しは
以前よりずいぶん穏やかになった

と整えられたことの満足感につ
ながっている気がする。そして、
花壇と一緒に、季節の変わり目
のどこか落ち着かない自分の心も、
丁寧に耕したかのような気持ちに
なるのだ。



★感想・体験談

お知らせ

皆さんのお声をウェブ上
で掲載させていただきます。方法
は事務局宛でのメモや便せ
ん、何でも有り難いです。
頂いたメッセージは個人情報
報を伏せた上でご紹介させ
て頂きます。いつも、事務
局へのお手紙ありがとうございます。
お気軽にお送りください。